

第2回県北地区新設高等学校統合検討委員会

日時 令和4年9月14日(水) 14:00～

会場 岩手県立一戸高等学校 会議室

次第

- 1 開会
- 2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ
- 3 報告
 - (1) 県北地区新設高等学校校名公募について
 - (2) 統合課題検討小委員会
 - (3) 教育内容検討小委員会
- 4 協議
 - (1) 県北地区新設高等学校校名(案)について
 - (2) 教育内容について
 - (3) 校章について
 - (4) 校歌について
 - (5) 校訓(建学精神)について
 - (6) 制服について
 - (7) その他
- 5 その他
- 6 閉会

県北地区新設高等学校統合検討委員会名簿

	氏 名	所 属	備 考
1	鳩岡 矩雄	二戸市教育委員会	
2	中嶋 敦	一戸町教育委員会	
3	生内 雄二	二戸市商工会	
4	中村 善雄	一戸町商工会	
5	筒井 裕一	二戸地区中学校校長会	二戸市立福岡中学校
6	佐々木由貴子	一戸町校長会	一戸町立一戸中学校
7	田家 亘	二戸市 PTA 連合会	二戸市立福岡中学校 PTA
8	田中 勝也	一戸町 PTA 連合会	一戸町立一戸中学校 PTA
9	中奥 孝宏	岩手県立福岡工業高等学校同窓会	
10	高村 正彦	岩手県立一戸高等学校同窓会	
11	小笠原定吉	岩手県立福岡工業高等学校 PTA	
12	佐藤 佳子	岩手県立一戸高等学校 PTA	
13	今野 雅之	岩手県立福岡工業高等学校	
14	上野 光久	岩手県立一戸高等学校	
15	佐々木正人	岩手県立福岡工業高等学校	
16	新田 剛史	岩手県立一戸高等学校	

3 報告

(1) 県北地区新設高等学校校名公募について

① 公募期間

令和4年7月29日（金）～令和4年8月28日（日）

② 周知方法

ア 岩手県立福岡工業高等学校（以下「福岡工業高校」という。）及び岩手県立一戸高等学校（以下「一戸高校」という。）のホームページに掲載

イ 県ホームページへの掲載

ウ 二戸市及び一戸町の中学校へのお知らせ

エ 福岡工業高校及び一戸高校の保護者へのお知らせ

オ 福岡工業高校及び一戸高校同窓会の折込広告による宣伝

③ 受付方法

ア 応募フォーム

イ 郵便（持参を含む）

ウ ファクシミリ

エ 電子メール

④ 応募件数

受付方法	応募人数（人）	応募件数（件）
応募フォーム	97	108
郵便（持参を含む）	1	5
ファクシミリ	2	3
電子メール	1	3
計	101	119

(2) 第1回統合課題検討小委員会及び第1回教育内容検討小委員会（合同で開催）

① 開催日時 令和4年9月2日（金） 15:45～16:45

② 開催場所 岩手県立一戸高等学校 大講義室

③ 出席者 20名

④ 主な内容

- ・ 県北地区新設高等学校校名公募実施結果及び校名候補（案）選定
- ・ 教育内容について
- ・ 校章について
- ・ 校歌について
- ・ 校訓（建学精神）について
- ・ 制服について

(3) 第2回統合課題検討小委員会

① 開催日時 令和4年9月8日（木） 15:00～16:00

② 開催場所 岩手県立福岡工業高等学校 会議室

③ 出席者 10名

④ 主な内容 第2回統合検討委員会に向けての内容確認

協議事項

- (1) 県北地区新設高等学校校名（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- (2) 教育内容について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- (3) 校章について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- (4) 校歌について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- (5) 校訓（建学精神）について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- (6) 制服について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
- (7) その他

4 協議

県北地区新設高等学校校名（案）について

○ 公募をもとに、以下の考え方で小委員会にて検討し、下表の7つの校名を提案する。

[考え方]

- ・ 県北地域の産業人材を育成する明るいイメージのものであること。
- ・ 市町を超えた統合のため、地名が入っているものは除外した。
- ・ 「〇〇総合高校」、「〇〇工業高校」というものは統合新設校における学びに誤解を与えるため除外した。

案	校名案 (ふりがな)	理 由
A	北桜 (ほくおう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2校の力が新しい形で県北の地において美しくたくましく花開くよう願いを込めた。 ・ 県北で学び、地域をリードする先輩、世界で活躍する先輩となり花開いてほしいから。統合する両校とも校地内の桜が美しいため。 ・ 桜…神が宿る場所という意味もある。新たなスタートとしてふさわしいと考えた。
B	いわて北桜 (いわてほくおう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「岩手」を平仮名としてやわらかく表記しつつ、県北に所在する学校であるため「北」を校名に含む形とした。二戸市の花が「山桜」、一戸町の花が「桜」であることから、北国の春に美しく、かつ力強く咲く桜の花のように、生徒達がひたむきに努力し、持てる力を開花させていくことへの期待を表した。
C	誠北 (せいほく)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1文字目は、両校の教育理念に「誠実」とあり、真摯に物事に取り組む様子を連想させることから、「誠」を取りました。2文字目は、県の北に位置し、この学校が県北の中心となってほしいという希望から「北」を校名に含む形とした。この高校に進学した生徒が、勉学や部活動に励み、充実した高校生活を送れることを願ったもの。 ・ 「誠実」両校の校訓に含まれる、大事にしたい姿勢を表した。
D	いわて北翔 (いわてほくと)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北の地から飛翔するという意味から。
E	明北 (めいほく)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい未来を作り出す人材の育成を県北の高校から輩出したいという願いを込めた。
F	北未来実業 (きたみらいじつぎょう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県北の地で未来を担う人材育成を目指す高校となる意味を込めたもの。
G	松桜 (しょうおう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡の松と一戸の桜、どちらもそれぞれの象徴だと思うため。

教育内容について

○ 目指す方向性

地域社会や地域産業を支える工業学科の各学科及び総合学科の各系列をそれぞれ維持する。

また、統合新設高校においては、統合による農業、商業、工業、家庭、福祉及び芸術等の学びの連携、地域と協働した活動（共同研究、インターンシップ、探究活動等）の一層の充実を図り、地域の人材育成を担う。

・ 提案理由

統合新設高校には、県北地域の将来を担う人材の育成が求められており、現行の教育内容を基本としつつ、県北地域の社会や産業を支える人材を育成する高等学校として地域との連携を深め、二戸地域の子供らに選ばれる高校を目指すことが適当と考えられるため。

<参考>現在の両校の学びについて

○工業学科

1 機械システム科

機械工業及びこれらに関する諸分野の業務に対応できる能力と、幅広い機械技術者の育成を目指している。

【取得できる資格】

危険物取扱者(丙種・乙種各類・甲種)、消防設備士、電気工事士(第1種・第2種)、工事担任者
国家試験、2級技能士(普通旋盤)、3級技能士(機械保全)、3級技能士(普通旋盤)、2級ボイラー
技士 技能検定(国家検定)、アーク溶接等特別教育講習 技能講習、計算技術検定(1級～3級)、
情報技術検定(1級～3級)、パソコン利用 技術検定(1級～3級)、機械製図検定

2 電気情報システム科

電気科、情報技術科、電子科の伝統を受け継ぎながら新しい時代に台頭し、地域社会に貢献できる実践的技術者の育成を目指している。

【取得できる資格】

危険物取扱者(丙種・乙種各類)、消防設備士(乙種第7類)、電気工事士(第1種・第2種)、第3種
電気主任技術者、工事担任者(第2級デジタル通信・第2級アナログ通信)、
2級電気工事施工管理技術検定(学科) 国家試験、日本漢字能力検定(各級)、計算技術検定(1
級～3級)、情報技術検定(1級～3級)、パソコン利用技術検定(1級～3級)

○総合学科

1 人文・自然系列

大学等への進学に対応して文系・理系の基礎から応用までの科目を学び、受験に対応できる知識や思考力を高める学習活動を行う。

【取得できる資格】

実用英語検定、漢字能力検定

2 情報ビジネス系列

社会で必要となる商業の基礎的な学習を始め、実社会で役立つ専門的な知識や技術を学んでいる。また、商業の学習を通じ、主体的にビジネスの諸活動に対応できるよう、各種イベントでの販売実習を行い、コミュニケーション能力の育成も図っている。

【取得できる資格】

簿記実務検定、情報処理検定、ビジネス計算実務検定、ビジネス文書実務検定、商業経済検定

3 介護・福祉系列

広く社会福祉全般について学んでいる。介護福祉士資格の取得（実務者研修：実務経験3年で国試受験）可能なカリキュラムに対応している。

【取得できる資格】

介護福祉士実務者研修（実務3年を経た後、介護福祉士国家受験資格）

4 生活・文化系列

（家庭）

生活・文化系列家庭コースでは、衣食住や保育、消費生活などの家庭科に関する科目を中心に学習し、私たちの暮らしを支えるための様々な知識や技術を身につけている。

【取得できる資格】

被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定

（芸術）

芸術コースでは、音楽・美術・書道の3つに分かれ、生活に密着した芸術の学校設定科目において、芸術性を高め、地域を愛し、活性化のために自分たちにできることは何かを考え実行に移していく生徒を育てる。

【取得できる資格】

硬筆検定、色彩検定、保育技術検定

（農業）

農業コースでは、野菜・草花の栽培を中心に、学校農場で実践的に学んでいる。生産物の加工や、地域で人とかわりながら販売する実習もあり、将来様々な産業で活躍できる力を身につけている。

【取得できる資格】

アーク溶接技術講習、危険物取扱者、農業技術検定



校章について

- 新たな校章を作成する。

作成方法

	A 案	B 案
方法	・両校の生徒・保護者・教職員からデザインを募集し、地元ゆかりの業者に委託してデザイン化する。	・地元ゆかりの業者・デザイナーに委託する。
利点	・生徒等からデザインを募集することで、新設高等学校設立に関わることができたとの思いが醸成される。	・専門家に委託することで、すみやかな作成が可能となる。
課題	・募集期間が必要となり、B案より時間を要する可能性がある。 ・デザイン化の経費が必要となる。	・委託料が必要となる。

<参考>現在の両校の校章について

校名	福岡工業高等学校	一戸高等学校
校章		
由来	<p>校章は、元本校講師横島健一氏の作により昭和 39 年に制定されたものである。作者は、風土の厳しさの中に、清潔な気品を明快かつ、簡潔に表現したいと願いつつデザインの製作に入ったという。男神岩女神岩と大崩崖の間を流れる馬淵川によって形成された馬仙峡に抱かれた近代的な工業高校をイメージしたものである。そして、北方の風土を表現しつつ、ここに学ぶ人々の高潔な人間像、洋々たる前途に希望をこめて作られたものである。</p>	<p>校章は、本校近傍の景勝地「末の松山」にあるといわれ、校舎前庭にも植樹されている「三葉の松」をもって構成されたものである。松は質実であり風雪に耐えて辛抱強く、その縁は永遠の青年を象徴し、左右水平の線は人類愛、真理の探究、美などの世界性を意味している。その線上に、左右均衡の美をもって「高」を中心に向かい合っている男女両性をあらかず松の葉は、その協力による発展向上を示し、より高い理想社会の構築を目指していることを表わす。</p>

校歌について

○ 新たな校歌を作成する。

・提案理由

新しい高校にふさわしい校歌を作成したい。小委員会で作成方法を検討し、第3回統合検討委員会において提案する。

<参考>現在の両校の校歌について

○福岡工業高等学校

著作権の都合上、校歌の掲載を控えます。

なお、福岡工業高等学校校歌は、同校のホームページ (<http://www2.iwate-ed.jp/fut-h/>) に掲載しておりますのでご参照ください。

著作権の都合上、校歌の掲載を控えます。

なお、一戸高等学校校歌は、同校のホームページ (<http://www2.iwate-ed.jp/inh-h/index.html>) に掲載しておりますのでご参照ください。

校訓（建学精神）について

○ 両校の校訓（建学精神）を参考にしながら、新たな校訓（建学精神）を作成する。

・小委員会で原案を作成し、第3回統合検討委員会において提案する。

<参考>現在の両校の校訓（建学精神）について

福岡工業高校（建学精神）	誠実	希望	平和
一戸高校（校訓）	明朗	誠実	進取

制服について

- 生徒・職員の意見を参考にして新しい制服を作成し、令和6年度入学生から新しい制服を着用する。
(なお、令和5年度以前の福岡工業高校及び一戸高校の入学者は、統合後も現行の制服を着用する)

・提案理由

生徒・職員の意見を参考にして新しい制服を作成し、地域や中学生に統合新設高校のイメージを持ってもらう。

小委員会での意見

- ・ジェンダーフリーを考慮した制服としたい。
- ・できるだけ安価な制服としたい。

<参考>現在の両校の制服について

○福岡工業高校と一戸高校の制服価格比較表

	福岡工業高等学校		一戸高等学校	
	男子	女子	男子	女子
制服一式	49,600円	97,290円	77,500円	77,000円
(大きめサイズ)	52,600円			

※夏服と冬服を合算、一戸高校のニットベスト(5,200円)は上記価格に含まない。

○福岡工業高校



【制服価格表】

<男子>

<女子>

制服 (上)	A体 (標準)	B体 (大きめ)
	29,500円	32,000円
制服 (下)	ウエスト 88cm まで	ウエスト 92cm 以上
	12,000円	12,500円
Yシャツ	長袖: 2,850円	
	半袖: 2,500円	
ベルト	2,750円	
合計	49,600円	52,600円

上衣	35,850円
スカート	20,850円
サマースカート	19,800円
長袖ブラウス	3,680円
半袖ブラウス	3,550円
ネクタイ (赤)	1,800円
ベスト	11,760円
合計	97,290円

※制服・ワイシャツは、すべて指定の校章刺しゅう入り。

- ・取扱店「美美ニコア店」(ほりうち洋品店)、「いとう呉服店」

○一戸高等学校



【制服価格表】

＜男子＞

品名	色	サイズ	税込販売価格	備考
男子ブレザー	紺	S～3BL	¥28,800	エンブレム付
冬用スラックス	グレー	W67～W120	¥14,500	ツータック
キャンパスポロ長袖	白	S～5L	¥4,500	ショート丈
セーター	オフ白	S～5L	¥6,700	
ネクタイ	紺	フリー	¥2,200	
ベルト	グレー		¥2,900	
		冬物小計	¥59,600	
夏用スラックス	グレー	W67～W120	¥13,700	
キャンパスポロ半袖	白	S～5L	¥4,200	ショート丈
		夏物小計	¥17,900	
		合計	¥77,500	
ニットベスト	オフ白	S～5L	¥5,200	希望購入（任意）

＜女子＞

	色	サイズ	税込販売価格	備考
女子ブレザー	紺	S～3BL	¥27,000	エンブレム付
スカート	エンジ	W57～W88	¥15,100	20車ひだ
キャンパスポロ長袖	エンジ	S～5L	¥4,500	ショート丈
セーター	オフ白	S～5L	¥6,700	
リボン	エンジ	フリー	¥2,000	
ハイソックス	紺	S～L	¥1,000	刺繍入
		冬物小計	¥56,300	
サマースカート	グレー	W57～W88	¥14,600	
キャンパスポロ半袖	紺	S～5L	¥4,200	ショート丈
ソックス	白	S～L	¥1,900	3P（1P 650円）
		夏物小計	¥20,700	
		合計	¥77,000	
ニットベスト	オフ白	S～5L	¥5,200	希望購入（任意）

※ニットベストは購入を強制するものではありませんが、指定以外のニットベストの着用は認めません。別寸は価格が異なります。

・取扱店 「堀口呉服店」

県北地区新設高等学校統合検討委員会

1 統合課題検討小委員会

[福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事

[一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事

2 教育内容検討小委員会

[福岡工業高校]

	氏名	校務分掌等
1	佐々木 正 人	副校長
2	浅 沼 卓 雄	事務長心得
3	三 浦 潤	総務主任
4	西 舘 智香子	教務主任
5	藤 島 努	生徒指導主事
6	阿 部 仁 志	進路指導主事
7	寒河江 みちる	保健主事
8	杉 山 元 基	機械システム科主任
9	佐々木 正 勝	電気情報システム科主任

[一戸高校]

	氏名	校務分掌等
1	新 田 剛 史	副校長
2	三 澤 剛	事務長
3	千 葉 圭 子	総務主任
4	稲 垣 真 紀	教務主任
5	及 川 涉	生徒指導主事
6	高 橋 優 子	進路指導主事・情報ビジネス系列(商業)
7	佐々木 整	厚生主任
8	大 矢 晃 子	総合学科推進課主任・生活・文化系列(家庭)
9	岩 間 裕	人文・自然系列・(地歴・公民)
10	阿 部 也寸志	介護・福祉系列(福祉)
11	工 藤 峰 生	生活・文化系列(農業)
12	三 船 桂 子	生活・文化系列(芸術)

県北地区新設高等学校 統合検討委員会等に関するスケジュール

回	開催時期	検討内容
第1回	令和4年 7月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画についての経過報告 ・ 委員の委嘱 ・ 委員長及び副委員長の選出 ・ 統合検討委員会設置運営要綱について ・ 統合までのスケジュール等の確認 ・ 主な検討事項 ・ 校名（案）の検討（決定方法について） ・ 校舎制について
第2回	令和4年 9月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名（案）の検討（校名候補の決定） ・ 教育内容の検討① ・ 校章、校歌、校訓、制服等について①
第3回	令和4年 11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育内容の検討② ・ 校章、校歌、校訓、制服等について②（案の提示） ・ 部活動について①
第4回	令和5年 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校章、校歌、校訓、制服等の決定について ・ 部活動について②
第5回 (予備)	令和5年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 細部の確認 ・ その他